

TIAニュース

やあ!



TIAトピックス

介護の仕事のための日本語セミナー
とちぎグローバルセミナー2021

JICA 情報局

元海外協力隊員の地域活動紹介



TIAは「やさしい日本語」の普及をすすめています。



▲ グループ活動として「多文化防災ワークショップ」を進行する講師の菊池氏

災害時外国人サポーター養成講座

佐野市役所において、佐野市国際交流協会との共催により、7月7日(水)に災害時外国人サポーター養成講座を開催しました。講座には32名が参加し、災害時における外国人の対応について必要な情報や外国人への配慮を学びました。

はじめに、佐野市危機管理課復興推進係の萩原正彦氏が、令和元年度東日本台風被害からの復旧・復興の現状と新たな取り組みとしての連携支援ネットワークについて報告しました。

次に、講師の多文化社会コーディネーターで、公益財団法人仙台観光国際協会職員あきよしの菊池哲佳氏が、「みんなで考えよう! 多文化共生時代の地域防災」と題して講演とワークショップを行いました。講演では、東日本大震災での事例やその後の取り組みを紹介し、地域防災において多文化な視点を持つことの大切さについて学びました。また、「多文化防災ワークショップ」では、避難所におけるトラブルについて、グループで意見交換を行いました。参加者からは、「日本人と外国人が互いの文化を知る機会が必要だ」、「今後も具体的に何ができるか話し合える場がほしい」といった感想がありました。



やさしい日本語普及員養成セミナー

6月19日(土) とちぎ国際交流センター

日本語があまり得意ではない外国人にわかりやすく伝える「やさしい日本語」を学び、周囲に広める活動について考えるセミナーを開催し、県内各地から学生を含む30名が参加しました。

今年も一橋大学国際教育交流センター准教授の柳田直美氏を講師に迎えました。セミナーでは、国内や栃木県内の外国人の推移や背景、情報提供を受ける権利、「やさしい日本語」の基本について学びました。

「やさしい日本語」に書き換える場合は、最も伝えたい項目を取り上げ、それをわかりやすい表現にしていくという説明を受け、実際に役所のホームページの文を書き換えてみました。

最後に、「やさしい日本語」の普及方法について、役所や自治会から広める、防災や子育てなど身近なテーマと関連づけるなど、グループでアイデアを出し合いました。



▲参加者にアドバイスする講師の柳田氏(中央)

グローバル人材を対象とした合同企業説明会

6月30日(水)～7月2日(金) オンライン

「グローバル人材確保支援事業」の一環として、国内の大学等に在籍する留学生などを対象にオンラインによる合同企業説明会を実施し、県内のグローバル企業6社と県内外の外国人留学生等27名が参加しました。

各企業からは会社概要、採用条件、面接方法等について説明がありました。

また、参加学生からは採用方法、必要な資格、入社後の待遇等について率直な質問が出ました。説明会終了後、面接を受けたい学生から直接連絡があった企業もあり、大変有意義なものとなりました。

対面式による県内のグローバル人材を対象とした合同企業説明会は、11月25日(木)に予定しています。



▲熱心に説明を行う元留学生の社員(右上)

介護の仕事のための日本語セミナー

7月10日(土) とちぎ国際交流センター



▲長谷川氏がテキスト①について説明

外国人住民の介護分野への就職支援及び介護職への定着化を図ることを目的に、一般社団法人にほん語でかいご共育会と共催で、「介護の仕事のための日本語セミナー」

を実施しました。26名の外国人住民(中国、フィリピン、ブラジル、ペルー、タイ、スリランカ、ミャンマー)が参加しました。

セミナーでは、共育会が作成した2つのテキスト、①「にほん語でかいご～はじめて学ぶ介護の言葉」と②「介護現場で使う文法と語彙～申し送り編～」について、同会の長谷川朋子氏と増谷祐美氏がそれぞれテキストの内容を説明し、自主学習するための動画や音声の使用方法を伝えました。

参加者からは、「テキストにある内容すべてを学び実践したいと思います」など意欲あるコメントをいただきました。



▲増谷氏がテキスト②について説明

TIA 外国人キーパーソン研修会

7月31日(土) とちぎ国際交流センター



▲ネパール人コミュニティへの情報提供について話すマヘス氏

TIAから外国人住民に向けた情報をSNS等で広める協力をしていただいている外国人キーパーソンネットワーク会員を対象に、今後の情報発信の参考となるよう、「TIA外国人キーパーソン」の活動

報告や情報交換を目的とした研修会を実施しました。参加したのは、ベトナム、中国、フィリピン、ペルー、タイ、ネパール、スリランカ、バングラディッシュ、マレーシアの9か国13名。

前半は事例報告として、ネパール出身のルイテル・マヘス氏とペルー出身の如月紀香氏が、SNSで情報拡散を行う際の工夫や配慮について発表しました。後半は2グループに分かれ、日頃に行っている支援活動や情報発信をテーマに意見交換を行いました。次回の研修会は、来年2月の予定です。



▲グループで話し合うキーパーソンの皆さん



県内で国際理解・国際交流・国際協力等の分野で活動している団体が、それぞれ特長を生かした内容のセミナーを行う「とちぎグローバルセミナー」。今回は7月～8月に実施したセミナーを紹介します。 ※コロナ感染防止の対策を行って実施しました。

7/17 簡単おいしいインドカレーを作ろう！
学校法人アジア学院

アジア学院職員のヴェロ氏が講師となり、出身地の東北インド・ナガランド州の文化や現状を紹介した後、同学院産の食材とインドのスパイスを使ったカレーを参加者と一緒に作りました。



7/17 コロナ第2波を乗り越え北インドの人々と共に
特定非営利活動法人アーシャ=アジアの農民と歩む会

北インドから帰国したアーシャの三浦照男氏が、現地のコロナ感染状況や、村人とのモリンガ、大豆、豆腐プロジェクトの活動を報告しました。また、三浦孝子氏がモリンガの使い方を披露しました。



7/24 飛びたて高校生！高校留学の意義
グローバル・グループ

県内高校に留学したイタリア人のララ氏、及びタイに留学した小池氏が体験談を発表しました。また、米国、アルゼンチン、イタリアに留学した3名とともに、パネルトークを行いました。



7/31 LET'S！国際交流
栃木県青年国際交流機構(栃木 IYEO)

内閣府青年国際交流事業に参加し、韓国やASEANの青年と交流した2名が体験談を発表しました。また、同事業の参加者が設立した「See you soon プロジェクト」の活動内容が報告されました。



8/7 おうちで作れる！肉汁溢れる小籠包
World Cooking Club

WCCの伊澤愛氏が講師となり、豚の挽肉を薄い小麦粉の皮で包んで蒸す「小籠包」のほか、酸味と辛みが特徴の酸辣湯(スープ)や、台湾風豆乳プリン(デザート)の作り方を披露しました。



8/7 気候変動はなぜ人権問題なのか？
アムネスティ・インターナショナル宇都宮グループ

アムネスティ・インターナショナル日本ユースネットワーク気候正義ユニットの西家光一氏が、気候変動と人権問題の関係性、気候変動問題のために私たちができることなどについて説明しました。



8/21 ゲームで考えるチョコレートの旅
まちなか・せかいネット・とちぎ海外協力 NGO センター

オリジナルのボードゲームで、バナナやチョコレート、サッカーボールが生産地からどのように届くのか、また、フェアトレードのチョコレートは他のチョコとどう違うのかについて学びました。



8/21 七色の土を使って、お皿を作ろう！
クリエイティブ・レインボープロジェクト

陶芸家の林香君氏が講師となり、新規開発された七色土玉クレイを使ったお皿作りを紹介しました。参加者はでき上りを想像しながら、好きな色のクレイをつなぎ合わせ、自由にデザインしました。



8/28 任地も栃木も元気にする青年海外協力隊！
栃木県青年海外協力隊 OB 会

元青年海外協力隊員の涌泉香織氏(コロンビア/コミュニティ開発)、大竹恵実氏(ラオス/助産師)の2名が、協力隊の志望動機、任地の紹介、現地での活動、帰国後の活動などについて発表しました。



8/28 日本とネパール なにが同じ？なにが違う？
ネパール支援有志の会サングサングイ

ネパールと日本の価値観の違いを感じるカードゲーム「レヌカの学び」のほか、同会メンバーによるコロナ禍のネパール現地レポート、県内在住のネパール人とのパネルトークなどを行いました。





令和3年度市町・県国際交流協会連絡会議

8月25日(水) とちぎ国際交流センター

県内市町国際交流協会との情報交換と連携強化を図ることを目的とした「市町・県国際交流協会連絡会議」を開催し、12協会16名が参加しました。

各協会におけるコロナ禍での事業の実施や日本語教室運営等で苦労している点、コロナワクチン接種の多言語での広報などについて話し合いました。

おもてなし英語ボランティア

4月14日(水)～6月23日(水) 全10回

とちぎ国際交流センター

日本の文化やしきたり、美術、工芸などを英語で紹介できるようにするための英語講座を実施し、16名が参加しました。

講師は東京オリンピックの通訳としても活躍した平野聖乃氏が務めました。



▲わかりやすく解説する講師の平野氏

外部主催の研修会に当協会職員が協力しました。

災害時外国人サポート・ボランティア養成講座

主催 真岡市国際交流協会

7月17日(土) 真岡市青年女性会館

講師 TIA 田島亮子



▲避難所をテーマとした寸劇

災害時に備えて外国人に知っておいてほしいこと、地域における助け合いについて一緒に考えました。日本人、外国人の計16名の参加がありました。

JICA筑波 教師国内研修

主催 国際協力機構 筑波センター (JICA 筑波)

8月5日(木) とちぎ国際交流センター

講師 TIA 田島亮子、

早乙女ホンダエリザ

外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」と外国人の相談事例についてお伝えしました。



▲相談対応について解説する早乙女相談員

JICA 情報局

元海外協力隊員の地域活動紹介 ～在住ネパール人とともに～

2015年のネパール震災の支援を機に、元海外協力隊ネパール隊員と県内に住むネパール人が中心となり、ネパール支援有志の会『サンガサンガイ』が設立されました。

各種イベントで県民の皆さんにネパール文化を紹介し、大変好評です。「地域に住むネパールの方々も増えたので、一緒に助け合える社会を栃木県で実現ができればいい」と代表の大谷 崇さん。県内に住む



▲ネパール隊員による写真展

ネパール人と日本人をつなぐかけ橋として、帰国後も積極的に活動しています！

●「ネパール協力隊50周年写真展」を実施しました！

<https://www.facebook.com/jicatsukuba/posts/2076178019197543>

JICA 栃木デスクからのお知らせ

【JICA 海外協力隊など情報はこちらから】

◆筑波と世界をつなぐ様々な情報を発信中！

Website: <https://www.jica.go.jp/tsukuba/>

Facebook: <https://www.facebook.com/jicatsukuba>

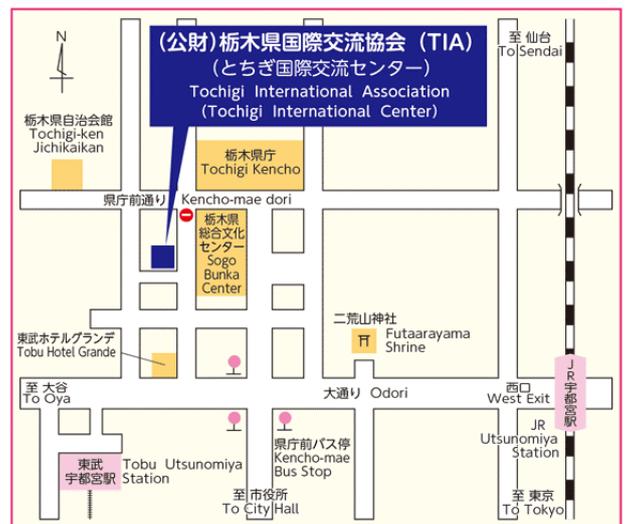
Twitter: <http://twitter.com/JICATBIC>

TIA で社会体験学習



▲機関紙の発送業務を手伝う田中さん(左)と中村さん(右)

宇都宮市立瑞穂野中学校2年の田中 陵さん、中村駿太さんが6月22日から4日間、業務のお手伝いや外国人スタッフから海外事情を聞きました。



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会(TIA)
住所 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777(代表) 028-627-3399(相談専用)
業務時間 8:30～17:15 休館日 日曜・月曜・祝祭日・年末年始
URL <http://tia21.or.jp> Email tia@tia21.or.jp